

2016年度の取り組みの中から

学園長 高橋和也

2016年度に行った新たな取り組みの中から4つを紹介します。

①地球市民教育フォーラム

新しい社会のヴィジョンや希望をそれぞれの立場から描く講師の方をお招きして、現代社会が直面する課題について学び、よりよい社会を創るための考え方や暮らし方、そして教育の在り方を検討することを目的に連続公開講座を企画しました。創立100周年に向けて取り組みます。今年度の開催は以下の通りです。

第1回「環境・食・いのちのつながり」福岡伸一

第2回「科学を通じて見る新しい世界といのちの捉え方」フィリップ・フランシス

第3回「いのちの場所(ありか)と共創社会への希望」内山節

第4回「リース遠征隊」上映会とトークセッション

第5回「キリスト教とイスラム教の対話を通して」山本芳久・大貫隆

②国際化センター

世界各地の学校とつながり仲間づくりをし、多様な価値観や地球規模での課題を学び合いつつ、国際社会で貢献できる人を育てたい。このような願いを持って、6月に「国際化センター」を発足させました。

現在実施している、デンマーク、ネパール、イギリス、フィンランド、カンボジアの学校との交流に加えて、ポーランドの大学、ニューヨークの高校との連携を進めました。

③「自由学園100人の卒業生+」

独自の人間教育に取り組む自由学園の教育の意義を、卒業生の生き方を通じて確認し、学園内外で広く共有することを目指して、卒業生10人の生き方を紹介する冊子「自由学園100人の卒業生+」を作成しました。創立100周年に向けて、卒業生の「独自性」「多様性」「創造性」を伝えるべく今後100人の紹介を目指します。

④教育実践の発信

『自由学園の生活文章』第3集(自由学園出版局)。2011年から2016年秋まで、初等部から最高学部までの143人の生徒たちが書き発表した文章を一冊にまとめました。『生活文章』集として18年ぶりの発行です。

また、婦人之友社から震災支援の中から生まれた『三陸わかめと昆布 浜とまちのレシピ 80』が、新潮社から女子部卒業生チームの編集によるレシピ本『自由学園最高の「お食事」』が刊行されました。